

PILLAR 日本ピラー工業株式会社

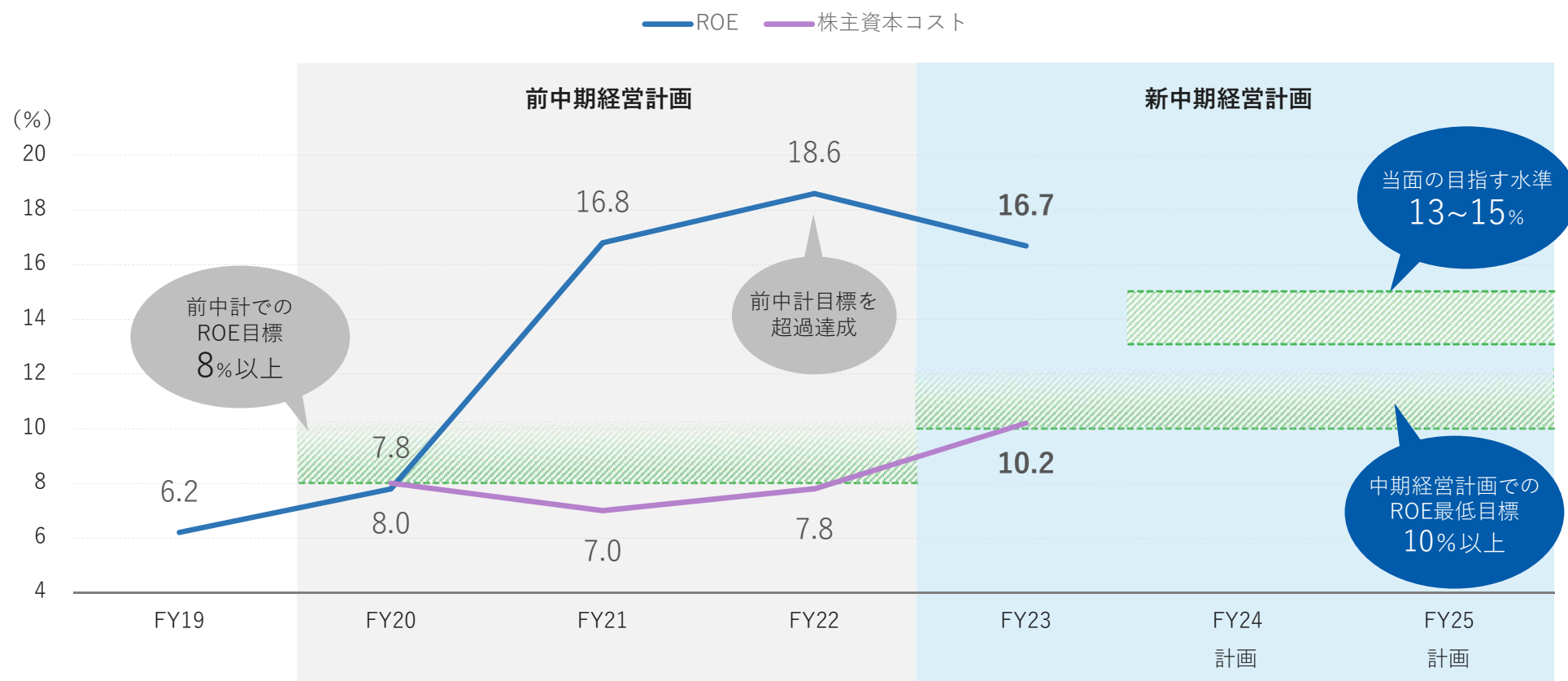
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2024年5月13日

株主資本コストについての現状認識

- 当社の足元の株主資本コストは、概ね10%程度と認識。ベータ値の上昇により株主資本コストも上昇
- ROEは大型の設備投資により23/3期の18.6%から1.9pt低下の16.7%となったものの、取締役会で資本コストを上回る資本収益性を確保していることを確認済
- 中期経営計画のROE目標は10%以上としているものの、資本コストの上昇を受け当面は13~15%の水準を目指す

ROEと資本コスト*の推移

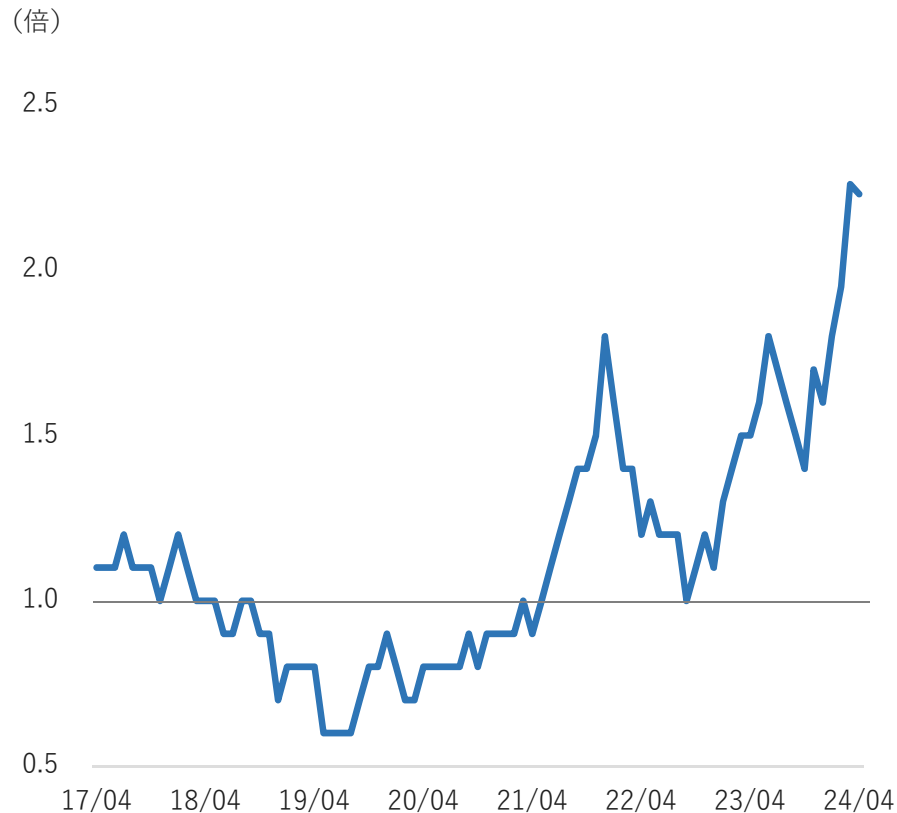


*1 CAPM (リスクフリーレート+ベータ値×リスクプレミアム) で算出

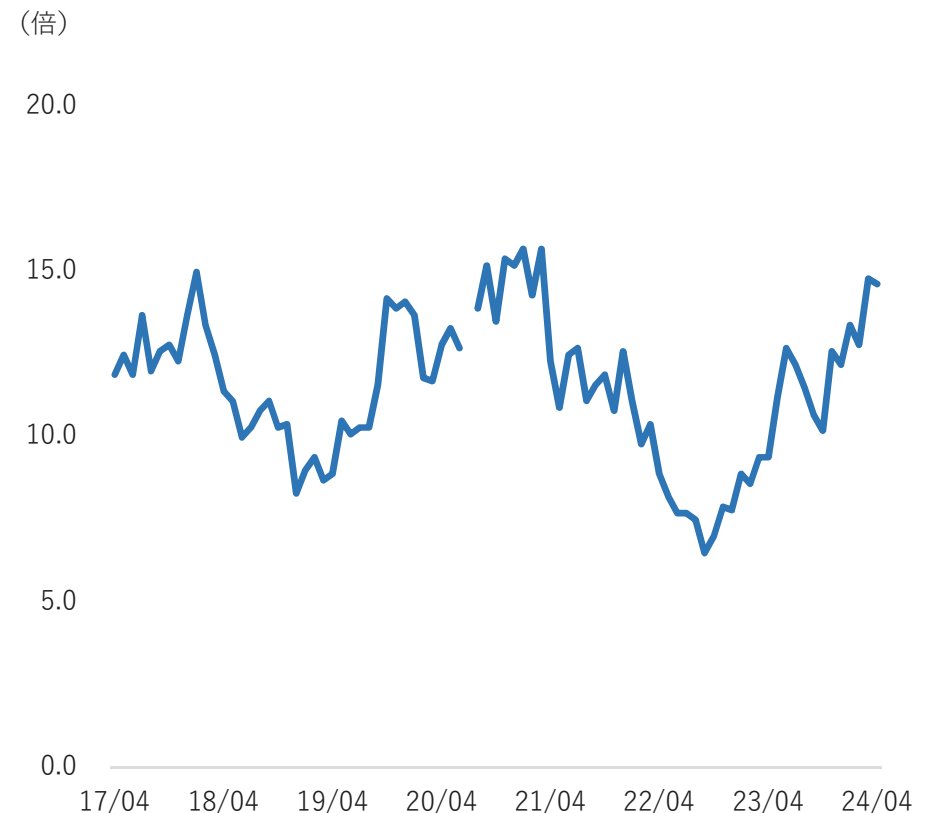
PBR・PERの推移と当社の認識

- PBRは18年4月から21年4月にかけて1倍を割れていたもののROEの向上に伴う株価上昇により2倍超にまで上昇
- 一方で、PERは22年4月に底打ちしたものの概ね10～15倍の間で推移
- 半導体関連の売上比率が7割を占める当社のPBR、PERは同業界他社比で上昇の余地があると認識

PBRの推移



予想PER*の推移



*会社予想をベースに算出

資本コストを上回るROEの継続に向けて

- 企業価値の向上には、成長性と投資効率の向上が求められていると認識
- 既存市場の成長を維持しながら新たな市場開拓にも取り組み、中期経営計画「One2025」の達成を目指す
- 積極的な投資を行いながらも、資本コストを上回る高水準のROEの維持を図る

PBRの分解

資本コストを上回るROEの継続に向けた取り組み

